

1. 「防災・減災」対策を強化し、安心して暮らせる府中へ！

地震や多摩川流域の氾濫による水害の恐れから
市民のいのちを守ることを自身の政治信念として、3期12年間働いてきました。

具体的な実績として

「罹災証明書のデジタル化」、避難先となる「学校施設の耐震化」「学校の教室や体育館にエアコンの設置」、「浸水予測表示の看板設置」、逃げ遅れゼロを目指して「時間軸に沿った避難行動計画が立てられるようタイムラインの導入」「避難所の混雑状況を見える化するアプリの導入」など。

2. 子育てしやすく、健康長寿に生活できる府中へ！

コロナ禍で、多いと感じた市民相談は、
企業や個人のお金の相談、離婚やDVによる子育ての相談でした。
また、日ごろから高齢者の医療・介護の相談を多く受けます。

お金の相談には

国・東京都・市のネットワークを活かし「補助金の情報提供」「相談先の斡旋」を実施しました。

離婚・DVの相談では

立場の弱くなる母子が一時的に避難し、生活場所として活用できる
「若年女性や母子のシェアハウス」の必要性を感じ、その施設づくりに尽力しています。
子どもを保護する「児童相談所」を創設する必要性を強く感じ、取り組んでいます。

高齢者の医療・介護の相談では

在宅でも施設でも安心して老後を過ごせるサポート体制の整備、
介護をすご家族の孤立防止、介護状態にならないためのフレイル予防にも取り組んでいます。

3. 「誰一人取り残さない」誇りに思えるまち府中へ！

SDGs(国連の持続可能な開発目標)の理念のもと、
「誰一人取り残さない」社会の構築へ 2030年を目標に取り組んでいます。

具体的な実績として

環境問題や貧困問題につながる「食品ロスを減らし、フードドライブ(フードバンクに寄付する活動)システムの構築」。女性の貧困問題に対して「生理用品の無償提供」を推進。人権尊重と多様性を認め合う共生社会の実現のために、多摩地域初の性的少数者(LGBT)「府中市パートナーシップ宣誓制度の導入」など。